

2003年漁業センサス三重県結果概要

(I) 海面漁業の生産構造

1 漁業経営体数

(1) 総経営体数

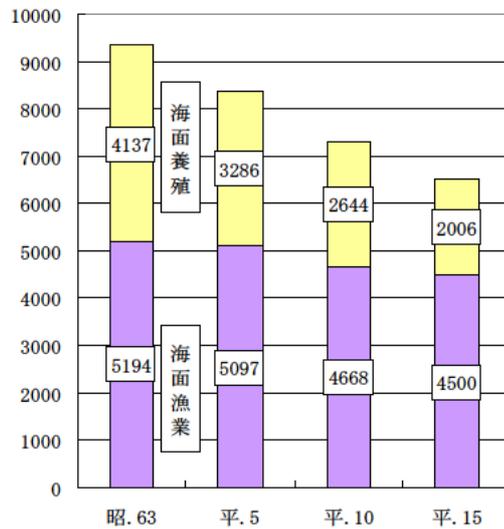
平成15年11月1日現在における三重県の海面漁業・養殖業の漁業経営体数は6,506経営体で、前回（平成10年調査、以下同じ）に比べ806経営体（11.0%）減少しました。

このうち、海面漁業は4,500経営体で、前回に比べ168経営体（3.6%）の減少にとどまりましたが、海面養殖業は2,006経営体で638経営体（24.1%）と大きく減少しました。

漁業経営体数の減少率の動向をみると、昭和58年、昭和63年は比較的穏やかであったが、平成5年以降は10%台となっています。

漁業経営体を漁業層別にみると、沿岸漁業層は816経営体（11.6%）減少、大規模漁業層は3経営体と半減しましたが、中小漁業層は13経営体（4.5%）増加しました。

図-1 漁業経営体数



漁業経営体とは、過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいいます。ただし、過去1年間ににおける海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除きます。

5年間の増減率 (%)

	昭.58	昭.63	平.5	平.10	平.15
△	4.2	6.8	10.2	12.8	11.0

表-1 漁業層別・階層別経営体数

区分	合計	計	沿岸漁業層									
			漁船非使用	無動力船	動力船			定置網・地びき網	海面養殖	のり類養殖	かき類養殖	
					3t未満	3t~5t	5t~10t					
平.5	8,383	8,023	471	15	2,858	663	519	211	3,286	1,217	204	
10	7,312	7,020	580	—	2,484	607	476	229	2,644	843	257	
15	6,506	6,204	546	6	2,419	540	470	217	2,006	604	236	
対比15/10 (%)	89.0	88.4	94.1	—	97.4	89.0	98.7	94.8	75.9	71.6	91.8	
対差15-10	△ 806	△ 816	△ 34	—	△ 65	△ 67	△ 6	△ 12	△ 638	△ 239	△ 21	

(2) 漁業層別・規模別経営体数

ア 沿岸漁業層（漁船非使用、無動力船、動力10トン未満、定置網・地引き網、海面養殖）

沿岸漁業層の経営体数は6,204経営体で前回に比べ816経営体（11.6%）減少しました。

階層別にみると、海面養殖階層が638経営体（24.1%）と大きく減少したのをはじめ、動力船階層の「3～5トン」が67経営体（11.0%）、「3トン未満」が65経営体（2.6%）、漁船非使用が34経営体（5.9%）等総じて減少しました。

また、海面養殖ではのり類養殖が前回より239経営体（28.4%）減少したのをはじめ、真珠養殖が171経営体（19.9%）、まだい養殖が159経営体（35.7%）といずれも減少するなどわかめ類養殖を除き主要養殖業が総じて減少しました。

イ 中小漁業層（動力10トン以上1,000トン未満）

中小漁業層の経営体数は299経営体で前回に比べ13経営体（4.5%）増加しました。

階層別にみると、「50～100トン」が前回より3経営体（7.7%）減少したものの「20～50トン」が9経営体（20.9%）、「10～20トン」が7経営体（3.9%）増加しました。

ウ 大規模漁業層（動力1000t以上）

大規模漁業層の経営体数は3経営体で前回に比べ半減しました。

図 - 2 経営体階層別前回差

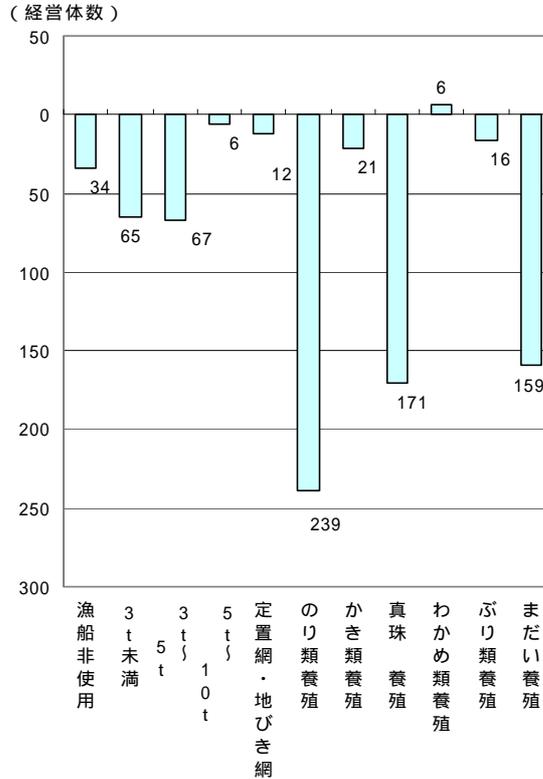


表 - 1 漁業層別・階層別経営体数（つづき）

区分	沿岸漁業層						中小漁業層 (t)	10以上20未満	20以上50未満	50以上100未満	100以上1000未満	大規模漁業層 1000t以上
	真珠養殖	わかめ類養殖	ぶり類養殖	まだい養殖	その他養殖	海面養殖						
平.	5	1077	48	84	490	166	355	237	46	52	20	5
	10	859	67	36	446	136	286	179	43	39	25	6
	15	688	73	20	287	98	299	186	52	36	25	3
対比15/10 (%)		80.1	109.0	55.6	64.3	72.1	104.5	103.9	120.9	92.3	100.0	50.0
対差15-10		171	6	16	159	38	13	7	9	3	0	3